



# 湧きでるいづみ



こんにちは！健全財政を保つ富士市も、税金の無駄使いをせずに市政運営をしていくことが必須です。2月議会は、来年度の予算チェックの時期になります。先輩議員に聞きました。「今まで、予算審議して変更になったものありますか？」「僕が議員になってからそれはないなあ」という回答でした。他市の事例では、まず予算編成に向けパブリックコメントを実施し、予算編成状況をHPに掲載（リアルタイムで公開し、市民から意見を募集）し、4回の見直し（優先度とその理由、予算、評価）を行うという仕組みを持つ自治体もあります。富士市も予算編成のプロセスの透明性を高め、市民の意見を反映させた上で議会が関わっていくことが必要だと考えます。市民の皆さまからのご意見やご要望が、住みやすい富士市を作る原動力となるからです。私も皆さまからの電話・メールで大変勉強をさせていただいています。引き続き皆さまの声をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

## 愛ある言葉 7



あなたがいるだけで場が和む

☆ゴミ処理施設建設～住民の合意を得ることが、市の重要課題です。今後、専門家も交え住民の質問には対応していくと報告がありました。住民の心に届く対話となるよう私自身も引き続き住民、当局の声にはしっかりと耳を傾けていきます。

☆小規模多機能型居宅介護～家族や親しい人たちとの生活を通して支えるサービスです。富士市の全事業所（6箇所）にお邪魔しました。サービスを受けて健康になった利用者、細やかな配慮を持って仕事をなさっている事業所の方々に接し、今後このサービスがより充実することを願い、協力をしていきたいと思えます。

☆議会改革～富士市議会では議会基本条例について、勉強会を行なっています。現時点では、条例制定について議員の中でも意見は分かれています。私は「条例制定は推進すべき」と考えています。「議員って何やっているの？」という言葉が耳にすることがあるからです。市民が理解しやすい議会の姿を打ち出すことはとても重要だと思います。今後の地方分権を見据え、議員はさらに立案スキルを磨く必要があります。

☆蒲原総合病院～病院経営は、中央病院と同様厳しい状況にあります。現在、有識者を交えての運営検討委員会が開かれています。現状把握・理解を深めた上での話し合いが重要です。このエリアは高齢化率が高く、病院と介護老人保健施設が隣接をしているという環境を活かした事業展開が期待されます。



いづみ磨き ●地球っ子広場ふじ～園児から小学生まで、年齢、国籍、障がいがあるなしに係わらず集まり遊んでいます。今年も活動をしていきます。興味のある方は山下まで連絡ください。

●大学女性協会～昨年10月の全国セミナーで静岡支部で発表した「多文化共生」（静岡に暮らす外国人の生活向上について）は、多くの注目を浴びました。日本全体で



今、真剣に取り組んでいかななくてはならない問題だからだと思います。●ブータン～国民総幸福量を大切に、国民の幸せのための国づくりを体感してきました。



## お知らせ ●「いづみ箱」

作りました～

山下いづみ後援会事務所（山下自宅）玄関前に「いづみ箱」を置いてあります。ご意見、ご要望をお入れください。



●いづみを出前します～市民の皆さまと語り合う機会をより多くしたいと思っています。お気軽に下記までご連絡ください。

発行 2010年1月25日 山下いづみ後援会事務所

〒417-0001 静岡県富士市今泉8-13-11

Tel&Fax 0545-53-2458

E-mail iyamashita64@cpost.plala.or.jp

Blog <http://izumiworld.exblog.jp>

## メルマガ登録


QRコードを読み取り、空メールを送信すれば登録完了。議会報告などご案内いたします。



## ★山下いづみ「一般質問」提言とこれから★

### ●思春期支援について（癒し&護りの泉）

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/hp/page000013600/hpg000013595.htm>


山下：性教育など予防的講座の充実、思春期のこどもたちの居場所の考慮、不登校生徒への支援の仕方、仕組み、保護者への情報提供と相談者（場所）の明確化の検討を。（現場の人は熱心なので、今後も対話をし、良い方向に）

回答：思春期検討委員会設置、窓口相談をまとめたパンフレット作成し配布している。今後、相談しやすい体制づくりに取り組んでいく。

「山下いづみ」のテーマは笑顔の泉の発掘です。～癒しの泉・護りの泉・美しい泉・文化の泉

### ●アイヌのチセ作りについて（文化の泉）


<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/hp/page000013600/hpg000013595.htm>

山下：アイヌのチセ作りを通して、家族の大切さ、自然の大切さを体感する。丸火自然公園は多くの自然、青少年の野外活動、また、市外、県外からも多くの利用者があり、自然な形でアイヌ文化に触れることができよいのでは？静岡県でも人権についての項目で、啓発強調事項として「アイヌの人々に対する理解をふかめよう」とある。（ピンと来ていないのだと思う。なぜ富士市がやらなくてはと？）

回答：市民の機運が高まるのが大切です。

### ●こどもにやさしいまちをめざして～子ども条例制定を！（癒し&護りの泉）

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/hp/menu000015300/hpg000015251.htm>


山下：こどもの育つ環境をよりよくするためにも、条例化し「市は何をするのか、したいのか、明確にし、短期、中期、長期的ビジョンのもと、予算、事業を展開をしていく必要がある。（もう少し、丁寧な順をおって説明する必要がある。縦割り行政の仕組みを基本に考えるのはやめたほうがよい）

回答：研究、調査をし、問題解決をし、制定できるか判断する。

☆詳しくは富士市HPを。

### ●指定管理者制度の現状と今後の見通しについて（護り&美しい泉）


<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/hp/page000018200/hpg000018132.htm>

山下：モニタリングはこれから、説明責任、情報の透明性（個人情報を守り）責任の所在、公募の仕方など、整えていく必要がある。指定管理者の経営困難や、サービス水準の低下などをさげ、公の施設がより効果的かつ効率的になっていくようにすること。（今もって試行錯誤しながらの取り組み）

回答：これからモニタリングはやっていく。方針、条例はある。

### ●フードバンクサービスの取り入れについて（護り&美しい泉）

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/hp/page000018200/hpg000018132.htm>

山下：生活困窮者を助けると同時に、食料ロスを減らす取り組みの一つとしてフードバンクサービスの導入を。（サービスイメージがつかめていないよう）「フードバンク」とは、品質には問題ない市場での流通が困難になった商品を廃棄せずに無償で食品の提供をうけ、生活困窮者に供給するサービス

回答：国の調査動向をみて、導入の可能性を調査をする。



### Photoアルバム～議員活動

